

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査 鴻巣市の結果の概要

教科に関する調査から（小学校）

※各教科の問題内容ごとの埼玉県平均正答率と本市平均正答率を比較し、本市平均正答率の方が高い問題内容は成果として示しました。同じく本市平均正答率の方が低い問題内容は課題として示しました。

【小学校4年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較		
	国 語	算 数
鴻巣市	48.9	65.8
埼玉県	52.5	66.2

【国語の成果】「国語辞典に出てくる順に言葉を並べ替える」「発表内容の構成について説明したもののうち、適切なものを選択する」等

【国語の課題】「示された漢字の「部首」と同じ「部首」を持つ漢字を選び、「部首」の名前を答える」等

【算数の成果】「わり算を用いる場面の文章題を解き、箱の数を求める」「表から読み取れる内容として正しくないものを選ぶ」等

【算数の課題】「4けたの数+3けたの数を計算する」「文章を読み、おはじきを配る前の個数を求める」等

【小学校5年生】

鴻巣市と埼玉県の平均正答率比較		
	国 語	算 数
鴻巣市	61.9	48.8
埼玉県	62.8	48.3

【国語の成果】「反対の意味を持つ漢字を組み合わせた熟語になるように漢字を選択する」「慣用句が適切に使われている文を選択する」等

【国語の課題】「文の主語と述語を抜き出して入力する」「文章の要旨に当てはまる言葉を抜き出して入力する」等

【算数の成果】「() を使った計算をする」「円周上の点を結んで図形をつくる時に、つくることのできない図形を選ぶ」等

【算数の課題】「比例関係にある表からグラフを作るときに、グラフが通る点として正しいものを選ぶ」等

【小学校6年生】

鴻巣市と埼玉県 averages 正答率比較		
	国 語	算 数
鴻巣市	58.2	52.8
埼玉県	59.3	52.4

【国語の成果】「辞書の使い方として適切になるように語を選択する」「同訓異字の中から文脈に合うものを選択する」等

【国語の課題】「登場人物の考え方を説明しているものとして適切なものを選択する」「熟語の漢字の組み合わせの説明として適切なものを選択する」等

【算数の成果】「分母が異なる分数の減法の計算をする」「2つの数の公約数を選ぶ」等

【算数の課題】「与えられた辺の長さや角の大きさの中で合同な三角形をかくことができるものを選ぶ」「平行四辺形の求積公式を導く過程を説明した正しい文を選ぶ。動画を用いる」等

教科に関する調査から（中学校）

※各教科の問題内容ごとの埼玉県平均正答率と本市平均正答率を比較し、本市平均正答率の方が高い問題内容は成果として示しました。同じく本市平均正答率の方が低い問題内容は課題として示しました。

【中学校1年生】

鴻巣市と埼玉県 averages 正答率比較		
	国 語	数 学
鴻巣市	63.1	54.3
埼玉県	62.5	52.0

【国語の成果】「文章中に当てはまる適切な擬態語を選択する」「対義語を選択する」等

【国語の課題】「キーワードを説明した文の空欄に当てはまる言葉を文中から抜き出して入力する」
「インタビューで質問したいこととして挙げられたものを整理するための表に選択肢を当てはめる」等

【数学の成果】「場合の数として適切なものを選ぶ」「度数分布表を見て、特定の生徒の人数は、全体の生徒の人数の何%か求める」等

【数学の課題】「縮図から実際の木の高さを求める」「かっこを含む四則混合の計算をする」等

【中学校 2 年生】

鴻巣市と埼玉県のア平均正答率比較			
	国 語	数 学	英 語
鴻巣市	55.5	51.5	62.2
埼玉県	54.6	51.5	60.2

【国語の成果】「動画が説明している故事成語として適切なものを選択する」「文中の敬語を適切な形に直す」等

【国語の課題】「同じ働きをする言葉を選択する」「レポートの一部を適切な形に直す」等

【数学の成果】「座標をもとに点を選ぶ」「グラフの点の y 座標が表すものとして正しいものを選ぶ」等

【数学の課題】「ある場面設定での正しい方程式を選ぶ」「比例式を解く」等

【英語の成果】「物の位置を示す英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する」「日常的話題に関する英語を聞き取り、情報を整理する」等

【英語の課題】「() に当てはまる正しい語句 (過去形) を用いて英文を完成させる」「自分が述べたことについて、相手の考えを尋ねる表現を選ぶ」等

【中学校 3 年生】

鴻巣市と埼玉県のア平均正答率比較			
	国 語	数 学	英 語
鴻巣市	57.7	57.8	52.1
埼玉県	57.0	56.7	51.5

【国語の成果】「同音異義語の中から文脈に合うものを選択する」「敬語の使い方が誤っているものを選択し、適切な敬語に直して入力する」等

【国語の課題】「2つの同じ会話文について、その言葉を発したときの登場人物の気持ちの説明として適切なものを選択する」等

【数学の成果】「三角形の性質を利用して、5つの角の和の大きさについての説明にあてはまる式や数を選ぶ」「単項式の除法の計算をする」等

【数学の課題】「動画を見ながら、さいころの目の数だけ図形上を動く2つのコインが、2つとも元の位置に戻る確率を選ぶ」「与えられた箱ひげ図を基に、表を完成させる」等

【英語の成果】「理由を尋ねる質問に対して、適切な理由を返答している文を選ぶ」「電子メールのやりとりと天気の情報を読み取り、質問に対する正しい答えを選ぶ」等

【英語の課題】「留守番電話の伝言を聞きとり、伝言の受け手がその後とるべき行動を表している絵を選択する」等

質問紙調査から（一部抜粋）（小・中学校）

* 「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」を選んだ児童生徒の割合（％）

* 1・2の質問項目については、R4県学調より質問の形式が変更され、複数の選択肢から当てはまるものを選択する形（複数回答可）となりました。

* 質問項目は、内容は同じものの、学年に応じて文言が異なる場合があります。ここでは、文言が異なる場合、小学4年生の文言を使用しています。

（例：質問項目6について）小4 相手の顔を見て、挨拶ができますか？

中1 進んで挨拶ができますか？

1 あなたが勉強する理由は何ですか。※複数回答

（1）勉強することが楽しい、好きだから

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	33.4	25.1	23.9	21.6	16.8	9.7
県平均値	33.7	23.7	19.3	16.4	11.6	11.6

（2）将来、役に立つから

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	79.9	81.7	84.7	87.0	79.9	71.5
県平均値	78.9	78.0	79.2	79.7	70.4	64.1

【考察】質問項目1（1）については、学年が上がるにつれ肯定的な意見の割合は下がる傾向にあります。多くの学年において、県の割合を上回っています。質問項目1（2）については、全学年が県の割合を上回っております。中1をピークに減少傾向が見られるのは、受験（受検）を意識した学習や抽象度が高まった学習等により、勉強する意義が進学のためへとシフトしていることが考えられます。「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善をさらに推進し、児童生徒にとって生涯学習につながる「学ぶ意義」を更に実感できる学習指導の充実が重要と考えます。

2 （前学年の）学級での生活は楽しかったですか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	95.7	92.6	93.5	87.8	94.8	93.3
県平均値	94.4	92.8	92.3	83.7	94.0	92.8

3 （前学年の）学級は落ち着いて学習する様子でしたか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	79.3	74.2	78.0	73.9	76.3	83.9
県平均値	79.3	75.2	74.8	72.6	70.3	76.6

【考察】質問項目2は小5が県平均値を下回ったものの、他の学年は県平均値を上回っており、学校生活への満足度は高いと考えます。質問項目3は小5は県平均値を下回りましたが、小4は県平均値と同等、小6から中3は県平均値を上回りました。小学校段階での学習規律の徹底が課題です。

4 自分にはよいところがあると思いますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	80.7	79.7	77.9	80.5	80.2	78.8
県平均値	80.7	79.1	77.2	79.3	77.8	80.2

5 将来の夢や目標をもっていますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	87.8	89.3	81.4	83.0	73.0	68.1
県平均値	90.6	88.5	83.9	83.2	72.6	70.3

【考察】質問項目4については、中3が県平均値をやや下回ったものの、他の学年は県平均値と同等か、県平均値を上回っています。今後も、自己肯定感や自尊感情を高める指導を継続的・組織的に進めることが大切であると考えます。質問項目5については小5と中2以外の学年で県平均値を下回っており、小中接続における進路指導・キャリア教育の充実や、小中9年間のつながりを意識した系統的な指導を行うことが重要であると考えます。

6 相手の顔を見て、挨拶ができますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	78.8	81.3	85.3	91.2	92.9	90.2
県平均値	81.5	82.0	84.5	88.1	88.1	87.5

7 相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができていますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	85.3	85.9	91.9	91.2	91.9	93.2
県平均値	85.5	86.9	89.4	89.5	90.9	90.8

8 進んで掃除をし、自分の担当場所をきれいにすることができますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	86.6	84.9	91.7	91.2	92.8	91.6
県平均値	87.7	87.3	88.9	87.7	88.0	89.2

【考察】質問項目6・7・8については、小4と小5で県平均を下回り、小6から中3で県平均値を上回っています。日頃からの挨拶の励行、道徳教育の充実及び、学校、家庭、地域社会とのつながりの中で、児童生徒に豊かな心が育まれているものと考えます。一方で、小学校段階での基本的な生活習慣等の指導を徹底することも重要であると考えます。

9 先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、発表することができますか。

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
市平均値	87.7	83.6	87.8	89.0	91.3	87.9
県平均値	83.7	83.2	83.7	83.4	83.3	85.4

【考察】質問項目9については、全ての学年が県平均値を上回っています。引き続き、学習指導において、相手の考えを適切に受け止め、一人一人が考える時間を十分に確保し、自分の考えをもって他者と交流することで、考えを深めていく「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を充実させることが重要であると考えます。

学力分析データから (小・中学校)

【学力が伸びた児童生徒の割合 (%) について】 (国語)

	小4→小5	小5→小6	小6→中1	中1→中2	中2→中3
鴻巣市	79.2	59.9	82.4	66.2	72.6
埼玉県	80.4	66.3	83.1	64.5	74.5

【学力が伸びた児童生徒の割合 (%) について】 (算数・数学)

	小4→小5	小5→小6	小6→中1	中1→中2	中2→中3
鴻巣市	66.2	71.2	69.5	81.7	69.6
埼玉県	69.6	68.3	66.5	84.6	63.8

【学力が伸びた児童生徒の割合 (%) について】 (英語)

	小4→小5	小5→小6	小6→中1	中1→中2	中2→中3
鴻巣市					79.3
埼玉県					81.8

【考察】「教科に関する調査」に係る「学力が伸びた児童生徒の割合」については、県の割合を下回る学年が多い状況です。今後も、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばすための学習指導の工夫・改善に取り組んでいくことが重要であると考えます。